

2015年度環境活動レポート

対象期間：2014年9月～2015年8月



上島珈琲貿易株式会社

作成日：2015年10月31日

目次

ご挨拶	1
環境方針 理念	2
環境方針 行動指針	3
事業概要	4
組織概要	5
認証・登録の対象組織と活動	7
主な環境付加の実績	7
環境目標・実績	8
環境負荷の推移	9
環境活動による経費の削減効果	10
取組結果と評価	11
環境関連法規の順守状況	14
代表者による評価と見直し	15

— 環境活動の紹介 —

1. 太陽光パネル	16
2. 節電の取り組み	17
3. 節水	19
4. 自動車燃料の削減	20
5. 製品の環境への配慮	23
6. リデュース	24
7. リユース	25
8. リサイクル	28
9. 品質管理による環境負荷軽減	30
10. 地域とのかかわり	31
11. 直営店の環境活動	32
12. 弊社の環境活動のご紹介	33
13. 環境教育	34

ご挨拶

私たちの取り扱っているコーヒーは、日本ではほとんど生産することが出来ない農作物です。昨今コーヒー業界で話題になっているのが地球温暖化によるコーヒー生産可能地域の変化に伴う生産量の減少の危機です。

上島珈琲貿易ではそうした環境変化の中で、持続可能な農業の保護と消費国での環境負荷低減活動を推進しています。

さて、当社の環境への取り組みはエコアクション21の認証取得と同時にスタートしました。早いもので5年が経過しました。

当初は「もったいない(節約)」の切り口から、「出来るだけ多くに社員が楽しみながら関わり、業者に頼らずコスト削減を社員の手作りで出来ることはすぐにはじめる」を基本に活動が始まりました。

最近では事業領域での取り組みも始まり、有機コーヒーの取り扱いや品質管理の為の機器を購入しました。

コストをかけてでもCO₂削減に取り組みたいといった声が社員から出るようになりました。このように、今まで以上に企業の社会的責任(CSR)を迫及する企業風土に変化しました。

今後もエコアクション21に基づいた環境配慮型経営を実践して参ります。取り組み結果を「環境活動レポート」として取りまとめましたのでご高覧の上、ご指導ご鞭撻頂ければ、今後の環境活動に活かして参りたいと存じます。



上島珈琲貿易株式会社
代表取締役 上島淳史

環境方針 ①理念

私たちの取り扱う珈琲は地球環境の変化に対して影響を受け易い農作物です。

地球温暖化の影響で生産可能な地域が減少する可能性も研究結果として公表されています。

しかも日本国内の気候風土での生産には適さない農作物のため、そのすべてを海外の生産国からの輸入に頼っています。

そこで、私たちは珈琲生産国の生物多様性の維持のために有機JAS認証珈琲など環境に配慮された商品を取り扱います。

そのために必要な加工の認証を取得し、すでに販売も始めました。また消費国としても環境負荷を軽減するため、節電など節約への取り組みから、品質管理強化によるロスの防止を全社的に取り組み推進するなど地球環境の保全に配慮します。

そして、環境配慮企業になるため、環境教育より一層充実させながら、全社一丸となって自主的・積極的に取り組みます。

環境方針 ②行動指針

1

以下について具体的な環境目標を定め環境活動計画に基づき継続的な改善に努めます。

a. 地球環境保全の為に二酸化炭素の排出量を削減します。

電気使用量の削減

ガソリン使用量の削減

b. 循環型社会形成の為に省資源・廃棄物の削減及び再資源化に取り組みます。

食品廃棄物（焙煎かす・抽出かす）のリサイクル率向上

一般廃棄物の排出量の削減

c. 水資源を有効活用します。

一般排水の削減

d. グリーン購入を推進します。

e. 環境負荷が低減する製品を提供します。

f. 品質管理の制度・運用等のPDCA管理を確立し、トラブル抑制による環境配慮を推進します。

2

環境関連法規制や当社が約束したことを順守します。

3

当社で働く全ての社員にこの環境方針を周知します。

私たちは
行動指針に則って
環境活動を実行
しています！



事業概要

事業内容

- ◎コーヒーの焙煎
- ◎フランチャイズ事業
珈琲専門店MUC
珈琲舗MUCQUEEN
- ◎業務用コーヒー卸
- ◎直営店事業
- ◎インターネット通販
MUCカフェスタジオ
MUCオンラインショップ
- ◎開業支援
- ◎ショップサポート

コーヒー生豆の焙煎を中核に、カフェ・喫茶を中心とする飲食店へレギュラーコーヒーを供給したり、コーヒー専門店を運営する等、その他コーヒーの利用される様々なシーンで、弊社のコーヒー豆が使用されています。又、店舗運営や開業の支援業務、コーヒー関連商品の販売も行っております。又、近年ではインターネットでの商品販売も開始致しました。

【 加盟団体 】

- 全日本コーヒー公正取引協議会
- 全日本コーヒー厚生年金基金
- 一般社団法人 日本フランチャイズチェーン協会
- 一般社団法人 日本スペシャルティコーヒー協会
- 大阪珈琲商工組合
- 大阪府中小企業家同友会

コーヒーの焙煎を
中核として様々な事業を
展開しており、家庭用から
業務用まで、高品質なコーヒーの
販売に注力しています。



組織概要

1 名称及び代表者名

上島珈琲貿易株式会社
代表取締役 上島 淳史



2 所在地

本社	大阪府堺市美原区太井122-1
MUC COFFEE ROASTERS 八尾店	大阪府八尾市北本町2-2パントモール八尾3番街B-27
UEBO 谷町店	大阪府中央区農人橋1-2-1大江ビル1階

3 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 … 村井高行 [商品部物流課]
担当者 … 瀧宮久恵 [総務部]
TEL : 072-361-1000
ホームページ : <http://www.muc-coffee.co.jp>

組織概要

4 事業内容

コーヒー豆
焙煎加工

卸売・小売業
コーヒー、喫茶材料
(食品・器具・消耗品類) 販売

5 事業の規模

製品出荷額 6.1億円/年

事業所・直営店	本社	八尾店	谷町店
従業員	38名	3名	3名
延べ床面積	990㎡	61㎡	74㎡

※平成27年8月10日現在

6 事業年度

9月～8月

エコアクション21

認証・登録

1 認証・登録の対象組織と活動

登録 組織名

オフィス・工場

上島珈琲貿易株式会社 本社

店舗

MUC COFFEE ROASTERS 八尾店

店舗

UEBO 谷町店

活動

珈琲豆の焙煎加工及び販売
珈琲専門店フランチャイズチェーンの主宰
カフェ直営店の運営
家庭向けWEB通販

2 主な環境負荷の実績

(注) 電力の二酸化炭素排出係数：0.355kg-CO₂/kWh

項目	単位	2013年	2014年	2015年
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	259,600	242,935	220,364
廃棄物排出量	kg	23,364	23,173	23,228
一般廃棄物量排出量	kg	20,210	18,970	19,730
産業廃棄物排出量	kg	3,154	4,203	3,558
食品再資源化率	%	43%	53%	65%
総排水量	m ³	1,530	1,371	1,011

環境目標・実績

項目	年度	基準値	2015年		2016年	2017年
			(基準年度)	(目標)	(実績)	(目標)
電力の二酸化炭素排出量削減 CO ₂ 換算係数 0.355	kg-CO ₂	127,341	114,607	66,924	113,333	112,060
	基準年比	(2010年)	90%	53%	58%	56%
ガソリンの二酸化炭素排出量削減	kg-CO ₂	142,333	133,793	115,897	132,370	130,947
	基準年比	(2010年)	94%	81%	86%	84%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO ₂	269,674	248,400	182,821	245,703	243,007

*プロパンガスは少量のため、目標としていません。

一般廃棄物の削減 <small>*循環資源は目標としていません。</small>	kg	6,937	5,272	2,985	5,134	4,995
	基準年比	(2010年)	76%	43%	48%	46%
食品リサイクル率の向上	発生量(kg)			7,520		
	減量+再資源化量(kg)			4,875		
	%		36%	65%	60%	62%
節水	m ³	2,962	2,251	1,011	2,192	2,133
	基準年比	2,010	76%	34%	40%	38%
グリーン購入			チェックリストの購入推進		チェックリストの購入推進	チェックリストの購入推進
製品への環境配慮			チェックリストの項目推進		チェックリストの項目推進	チェックリストの項目推進

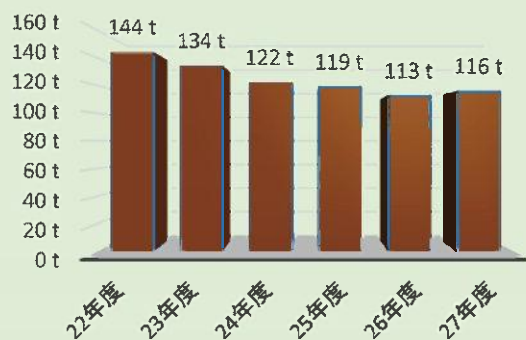
環境負荷の推移(過去5年間)

総Co2排出量は、自動車燃料Co2と電力消費量Co2にLPG消費量Co2を合計した数値です。

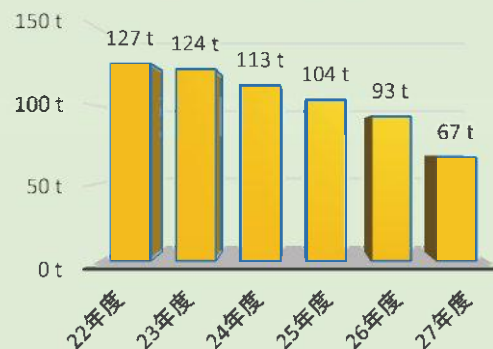
前期(平成26年度)と今期(平成27年度)の差は、前期の2月に京都直営店が今期の12月に茨木直営店が閉店し、今期の11月に八尾直営店が開店した差によるところが大きいですが、環境活動に全社員が一丸となって少しずつですが、一步一步着実に活動に取り組んだことも寄与しています。

自動車燃料Co2は今期の6月より1台増車し24台から25台になったと事や、営業範囲が広がり走行距離が増大したことが原因です。しかし後述しますが、燃費は向上しました。

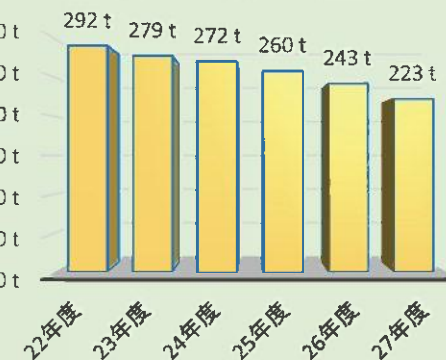
自動車燃料Co2



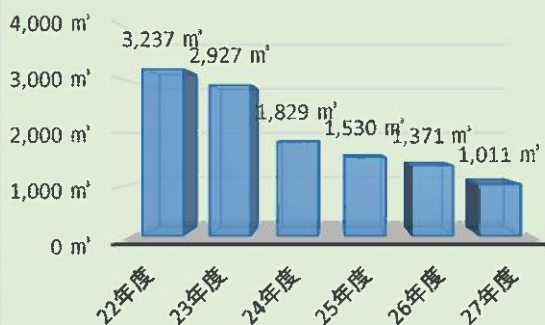
電力消費量Co2



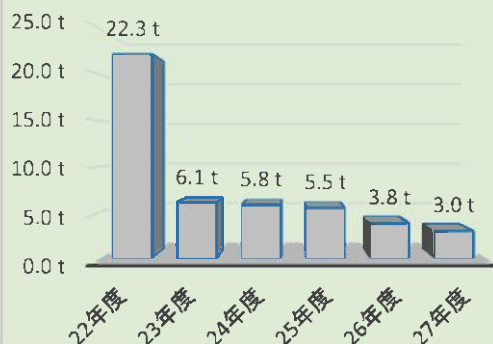
総Co2排出量



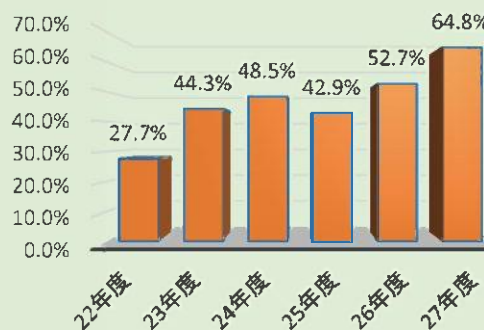
水消費量



一般ごみ廃棄量



食品リサイクル率



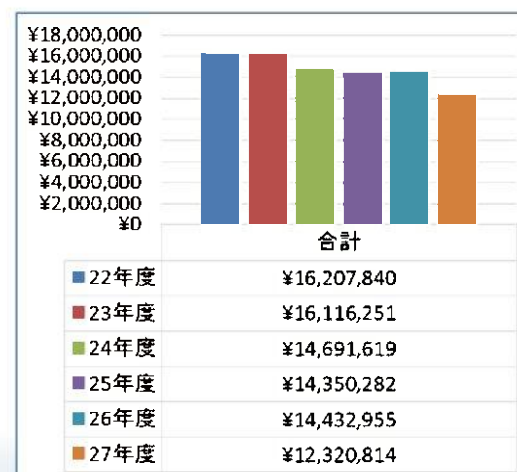
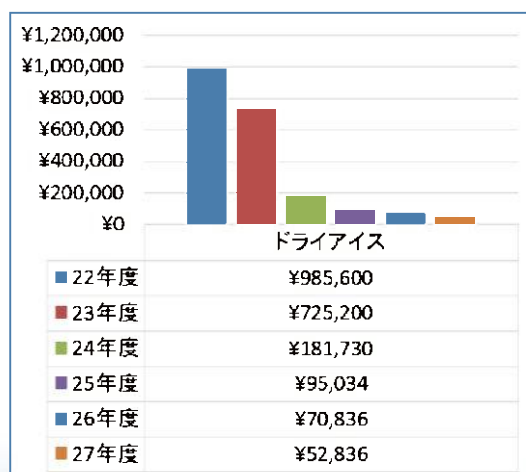
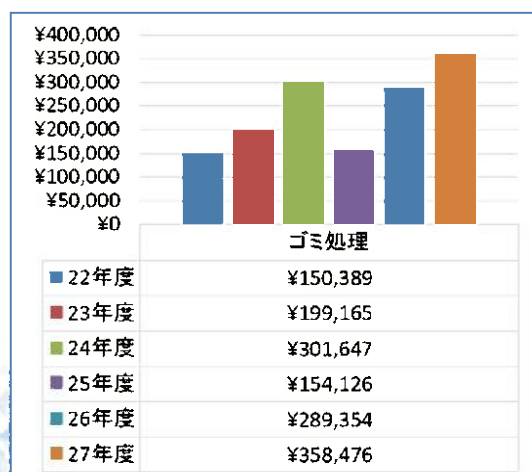
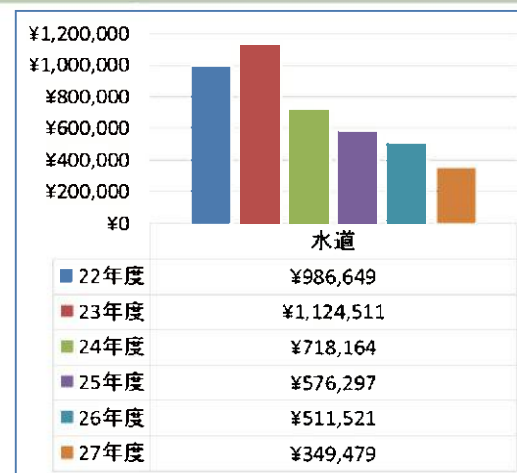
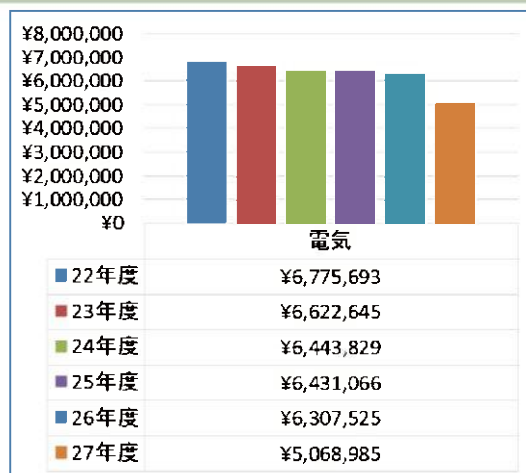
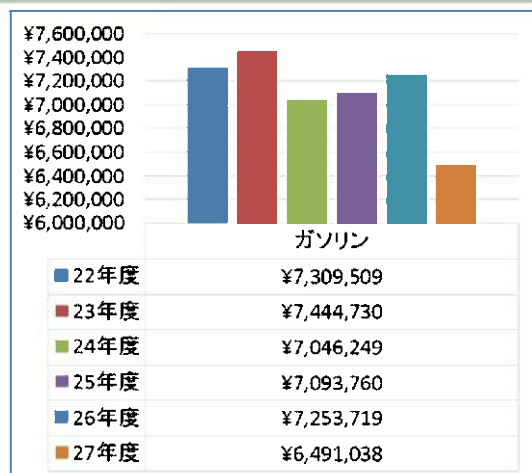
環境活動による経費の削減効果

〔 過去5年間の費用の推移 〕

特殊な変動要因があり今期は前期に比べ**2,112,141円**の費用が削減できた。

大きく変動したのは、ガソリン代と電気代だった。ガソリンは消費量は若干増えたが、ガソリン価格の下落により762,681円減少した。電気代は、1,238,540円下がったが、うち直営店の開閉店の差し引きで1,119,611円減少した。

金額は大きくないが、本社の電気代(118,929円減)や水道代(15,112円減)も消費量を削減して経費削減につながった。



取組結果とその評価、次年度の取組内容

取り組み・計画

達成状況

評価と次年度の取り組み内容

電力による二酸化炭素排出量の削減

◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

昨季は太陽光発電や屋上断熱など大きな費用を掛けてCO2削減に取り組んだので、今年は原点回帰で地道な省エネ活動に取り組んだ。今年度の目標は基準年に対し90%だったが、次年度は基準年に対し、58%を目指す。

概ね、計画通りに
実行できました！



朝礼前、全員清掃後の消灯アナウンスの放送	◎
出荷センターのガラス窓に断熱材の貼付	○
電力を季節別にデマンドコントロール	△
不必要な照明の消灯	◎
使用していない部屋の空調の停止	◎
クールビズ、ウォームビズによる冷暖房使用抑制	○
空調機フィルターの定期的清掃・交換等の適正管理	○
FC店のLED化の推進	△
離席時にパソコンをスタンバイ状態にする	◎

自動車燃料による二酸化炭素排出量の削減

◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

エコドライブは限界に近づいているものの、新たな取組としてエコドライブ実車講習を2名が受講した。車両が増えた事で燃料使用量は増えたが、燃費は減少している。今年度の目標は基準年に対し94%だが、次年度は86%を目標とする。

エコドライブ実車講習の受講	○
タイヤの空気圧の定期的確認と適正值保持	◎
追加配送の防止	△
自転車による営業活動の実施（パーク＆ライド）	○
排気ガス・騒音のレベルを抑えるため適正な車両整備	◎
エコドライブ等運転方法の励行	○

取組結果とその評価、次年度の取組内容

取り組み・計画

達成状況

評価と次年度の取り組み内容

一般廃棄物の削減

◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

3S（整理・整頓・清掃）活動の実施

◎

紙、金属缶、ガラスびん、プラスチック等の分別の徹底

◎

緩衝材BOXを設置し、緩衝材を再利用する

◎

中古の食器の売却または無償提供

○

在庫数量の適正化等の在庫管理

◎

中古の食器の売却・無償提供に仕組み、一般廃棄物の削減に取り組んだ。入荷商品に同梱されている緩衝材の再利用なども推進できた。今年度の目標は基準年に対し76%だったが、来年度は48%を目指す。

食品リサイクル率の向上

◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

チャフ・珈琲抽出カスの堆肥化（リサイクル業者へ依頼）

◎

製造工程における不良品等の発生抑制

◎

珈琲カスの直営店（UEB0）での配布

◎

在庫管理強化による不良在庫発生抑制

○

出庫段階における商品（食品）破損の防止

◎

品質管理改善による生産ロスの防止

○

工場のチャフや本社のコーヒー抽出カスの肥料化や谷町直営店でのコーヒー抽出カス乾燥後の顧客への無料配布も継続して実施し、食品リサイクル法で定められたリサイクル率をクリアした。製造工程での異物混入対策として機器を設置し、不良品発生抑制に取り組んだ。今年度の目標は基準年に対し36%だったが、来年度は60%を目指す。

節 水

◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

焙煎機付属のチャフ散水に使用する水の循環

◎

日常的な節水励行

○

八尾直営店に節水コマの取り付け

○

直営店の開閉店の影響と、工場の水循環システムの効果で5年前の水道使用量の66%減となった。手洗い時などに水道の流しっぱなしを禁止する表示などで、節水に努めている。今年度の目標は基準年に対し76%だったが、来年度は40%を目指す。

取組結果とその評価、次年度の取組内容

取組み・計画

達成状況

評価と次年度の取組み内容

グリーン購入

◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

サステイナブルコーヒーの買付・販売を増やす
パソコン、プリンタは原則として中古パソコンを購入
再生トナー、再生インクの購入

◎
◎
◎

加工食品の有機JAS認証取得により、販売の強化を実施。取扱量が大幅に増えた。
次年度もより一層サステイナブルコーヒーである有機コーヒーの買付を増やす。

品質管理

◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

生豆石抜き機の導入
金属探知機・X線検知器の導入
風力選別機の導入
工場に防虫カーテンを設置
衛生管理手順書・記録の改善による異物混入リスク低減
品質管理改善による生産ロスの防止

◎
◎
◎
○
△
△

石抜き機、金属探知機、X線探知機、風力選別機など、投資を行い高精度の品質管理に必要な機器を購入した。
本格稼働は次年度からで、次年度はより高精度な品質管理を実施する。

環境関連法規等の遵守状況の確認及び 評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物（廃プラ、食品廃棄物など）
フロン排出抑制法 / フロン回収・破壊法	業務用空調機、冷凍庫、冷蔵庫
NO _x ・PM法	大阪府条例（自動車流入規制、ステッカー貼付）
食品リサイクル法	食品廃棄物
容器包装リサイクル法	製品の容器包装（紙、プラスチック）
家電リサイクル法	家庭用冷蔵庫
浄化槽法	浄化槽

- ☑ 環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。
- ☑ 関係当局よりの違反等の指摘は、過去3年間ありませんでした。
- ☑ 食品廃棄物の再利用率は今年度の目標値36%に対して65%で達成しました。

環境活動の紹介

1. 太陽光パネル

太陽光パネルの発電経過

前期の平成26年4月に本社屋上に設置した太陽光パネル(160cm×100cm)50枚が1年間フル稼働しました。今期の発電量は下記のとおりです。



	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	合計
予想発電量(kwh)	1,154	1,057	843	764	811	903	1,220	1,415	1,512	1,329	1,462	1,528	14,000
実際発電量(kwh)	1,333	1324	975	630	684	839	810	1,197	1,816	1,508	1,271	1,856	14,243
実際÷予想	116%	125%	116%	82%	84%	93%	66%	85%	120%	113%	87%	121%	102%

実際の発電量が予想に比べて102%となっており、ほぼ予想どおりに推移しています。

【今期の実績】(平成26年4月～8月)

発電量 14,243 Kwh

CO₂削減量 7,449 kg-CO₂ (関西電料の平成26年度のCO₂排出係数0.523kg-CO₂/kWhで計算)

【投資費用の回収予定について】

買取単価 36円/kWh(税抜)

買取期間 20年

回収期間 8年6ヶ月

利回り 11.7%/年(10年間の平均)

予定通り回収できそうです！

代表者による全体の評価と見直し

環境活動への取り組みは順調に実施され環境活動への取り組みは順調に実施され目標をクリアしました。

今年度は事業領域での環境活動として「有機コーヒーの焙煎加工と販売」がスタートしコーヒー豆のグリーン調達・販売に取り組んで環境面に貢献しました。また来年度は「品質管理強化によるロスの防止」を全社的な取り組みとして推進します。

すでに、原料の異物除去機器と製品の異物検査機器がものづくり助成金を活用し導入することが出来ました。

当初の自分たちの手作りで出来る取り組みも少なくなってきたこともあり、最近では業者の協力を得ながらの取組になっています。

さらに、品質管理を徹底させるために「衛生管理講習会」を実施し社員への環境教育をより一層充実しながら、全社一丸となって活動していきます。

2. 節電の取り組み

出荷センターの窓の断熱

事務所と同様に建築用の断熱材を使おうと思いましたが、作業上採光が必要なために荷造り用のエアキャップ(プチプチ)を貼りました。断熱効果は少し劣るようです。



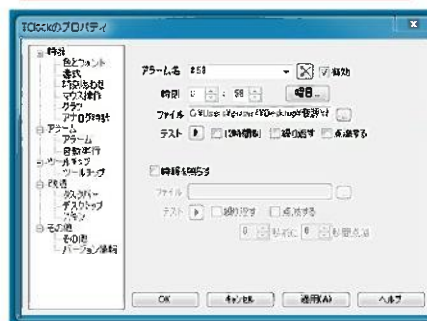
空調室外機カバーの設置



消灯指示の放送

朝礼の前や、朝清掃の後に消灯すうよう自動で管内放送が流れます。
朝礼前:まもなく朝礼です。1分以上離れる場所の電気を消して下さい。
清掃後:外倉庫、1階商品倉庫、3階倉庫の電気を消して下さい。
消灯すべき時にタイムリーに放送されるので、きちんと実行されています。
放送はパソコンから音声アラームを放送用アンプを通じて各所のスピーカーから流れます。

PCのフリーソフトのアラーム機能



放送用アンプ



管内スピーカー



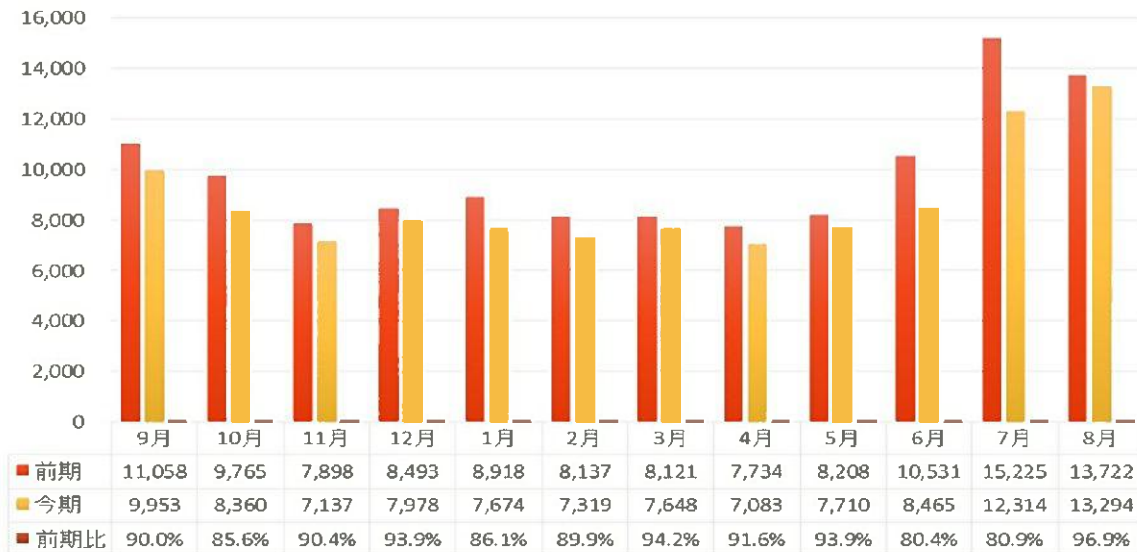
今夏も御年80歳になった相談役(先代の社長)が設置してくれました。



本社の電力消費

屋上の太陽光パネル設置や屋上断熱工事、そしてパソコンのスリープや照明のこまめな消灯が功を奏して、本社の年間使用電力は対前年比で約11%削減できました。

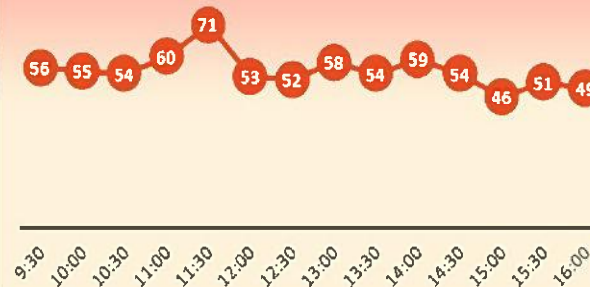
使用電力量(kWH)



が、しかし8月に最大電力(デマンド値)が60KWから71KWに！

8月5日、ちょっとした油断でした。午前11時30分から午前12時の間にデマンド計の警報に誰も気付かずエアコンスイッチを切らなかったのが原因です。この日はいつも注意している女子社員が休みでした。これで年間の電気料金が約18万円増えてしまいます。

8月5日の最大電力(kW)



月別の最大電力(kW)



限界警報

残り 18 分

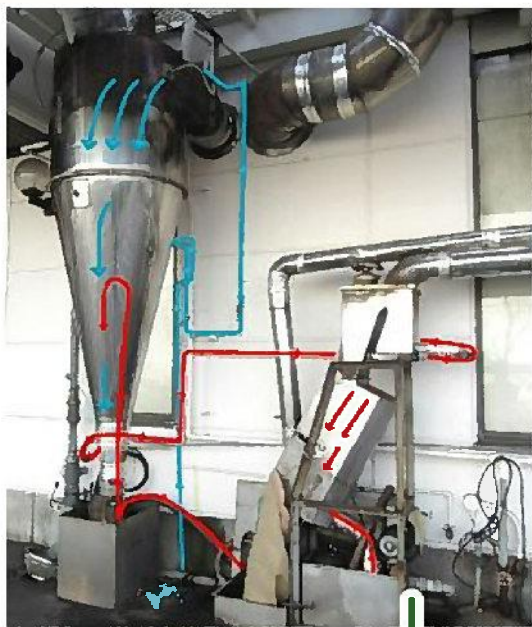
無視停止ボタンを押してください

電気機器の使用を制限してください。

来期は自動制御のデマンドコントローラーの導入を検討します。

3. 節水

本社の節水



本社工場で焙煎した時に出るチャフ(生豆の薄皮)を回収する水の循環装置を平成24年に設置し、その後毎年改良しています。
 さらに、今期は回収する水の蛇口を以前より5分早く締めました。
 また、前期より始めた節水ポップで水の出しっ放しを警告したのも功を奏したのか、今期もさらに水道使用量が減少しました。

本社の水道使用量と料金



4. 自動車燃料の削減

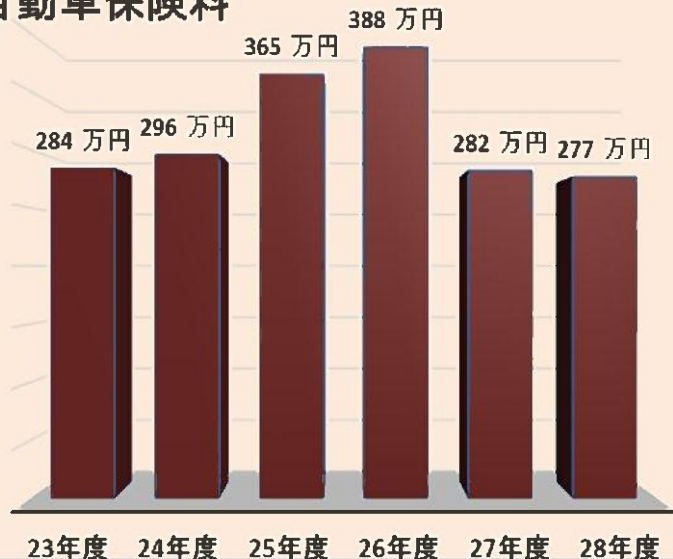
エコドライブを基本とした安全運転の実施

下記を継続して実施しています。

- (1) 空気圧を始めとする車両チェック
- (2) 毎朝出発前のエコドライブ20箇条の音読
- (3) コンピュータによる燃費管理とドライバーへの指導
- (4) エコドライブ実車講習受講(前期まではシミュレータ講習)
- (5) 無事故、無違反日数の掲示
1000日達成で全社員でハワイ旅行へ行きます。
- (6) 安全運転講習会や適正診断

安全運転で事故が減り自動車保険料が削減できました。平成28年度(支払予定)は前年より1台増車。

自動車保険料



自転車に乗って営業(パーク&ライド)

大阪市内で飛び込み営業する時は、営業車に折り畳み自転車を積んで市内の駐車場で自転車に乗り換えます。



さあ頑張って
有機珈琲を
拡販するぞ!



大阪府無事故・無違反チャレンジコンテスト

コンテスト期間中の発生率ランク
コンテスト期間中の交通事故・違反発生率を低い順にランクを付けますと、

黒山 コンテスト
参加企業 51 社中
御社の

交通事故は、

1 位

交通違反では、

37 位

となっております。

(コンテスト表彰の順位ではありません。)

期間は平成26年10月1日より半年間で31名が参加しました。交通事故は無かったので1位ですが、交通違反が多かったので37位でした。違反内容は速度違反(29km以下)、運転中の携帯電話使用、信号無視、その他各1件の合計4件です。

エコドライブの実車講習の受講



大阪府環境農林水産部環境管理室 交通環境課 主催の
実車講習を社員3名が受講しました。
エコドライブを意識しない運転と意識した運転で燃費が
10.2%改善したというデータが出ました。

「エコドライブ教習(体験版)」 体験記録カード

会社名	上島珈琲貿易株式会社	様
お名前	丸山	様
時間		
お車番号	1号車	

運転区分	空費	燃費改善率
通常運転(1回目)	19.08 km/l	
エコ運転(2回目)	20.92 km/l	9.1%

※今回は体験版のため、改善率が設定でない場合がございます。
(弊社通常のエコドライブプログラムでは20%程度の改善率が平均です。)



試乗の際は周囲の交通環境に十分ご注意ください。

設定したルートを実車2周します。
1周目はエコドライブを意識しない運転
2周目はエコドライブを意識して運転

エコドライブ講習 診断書



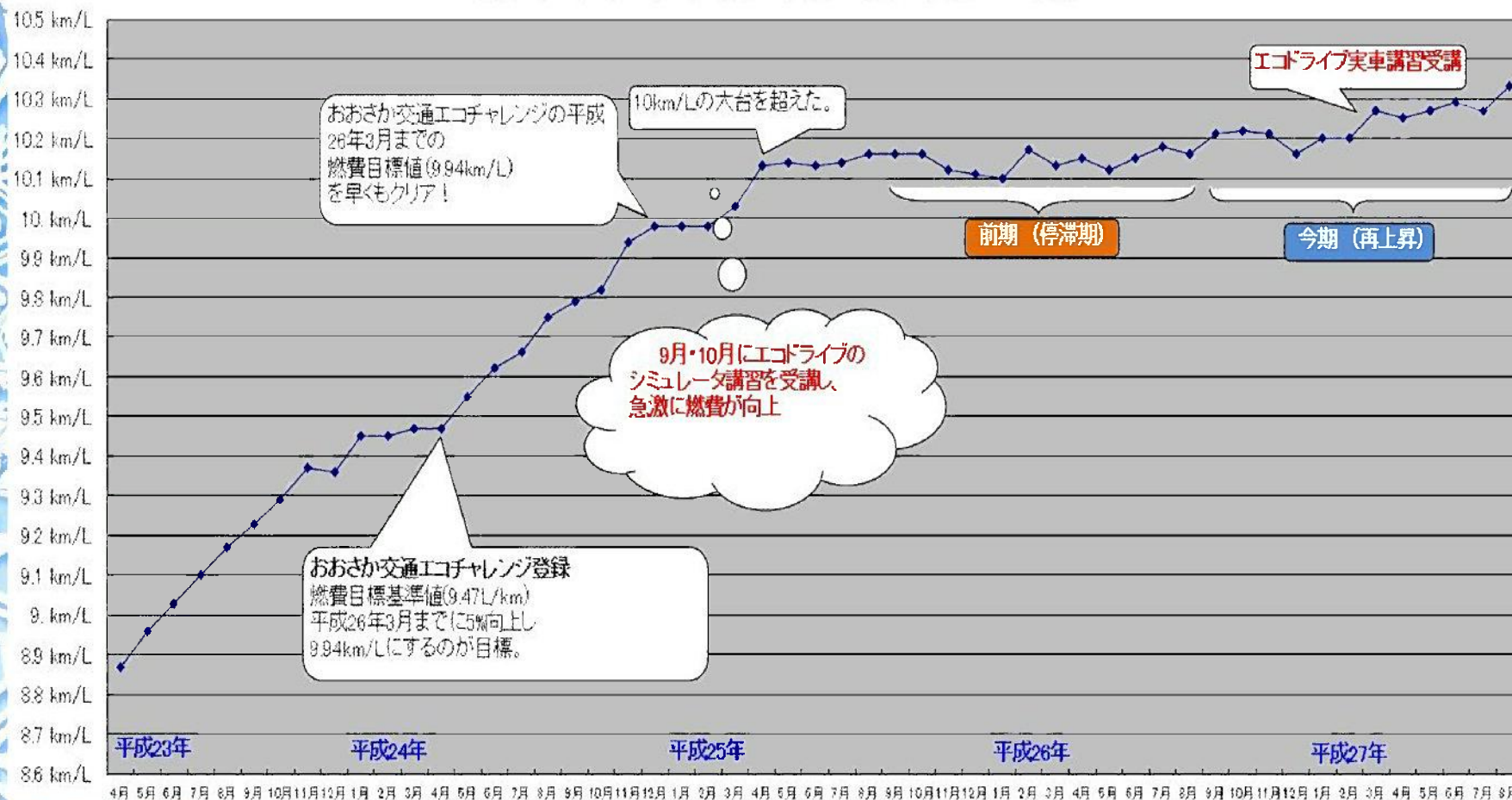
— エコドライブ講習 診断書 —
燃費の改善データやアクセルワーク
走行パターンなど、詳細な走行データが
表示され、改善するための参考になります。

燃費について

燃費推移グラフ

それぞれの月までの1年間の燃費

例えば、23年4月の値は、平成22年5月～平成23年4月までの燃費



前期はダイエットと同じで前期は停滞期だったので燃費が上がらなくなりましたが、今期は燃費が再び上昇傾向にあります。今期は実車講習を受講したこともあります、毎朝エコドライブ20箇条を音読したり、安全運転を心がけたり、常に地道なことを繰り返した結果と考えています。

5. 製品の環境への配慮

有機コーヒーの販売

有機加工食品とは、JAS法の規格に従った有機農産物を95%以上使用し、添加物・薬剤の使用を抑えた加工食品です。農林水産省の登録認定機関の検査に合格して「有機」「オーガニック」と表示できます。

平成26年4月に「有機加工食品についての生産行程管理者」の認定を受け有機JASマークを商品に貼って「有機コーヒー」として販売できるようになりました。それまでも、有機コーヒーの原料豆を焙煎して販売していましたが、「有機コーヒー」として販売できませんでした。「有機コーヒー」として販売できるようになり飛躍的に販売量が伸びました。

有機JASマーク



販売する商品も今期は10種類になり、それらを詰め合わせたギフトセットも販売しています。



認証取得のために発足した「有機JAS認証取得プロジェクト」は認定後に「有機JAS認証継続プロジェクト」として継続し、毎年行われる認証更新の検査にも合格しました。

弊社は今後も安心して安全な有機コーヒーの販売量を増やすことによって生産国の環境・生物多様性保全の一助になりたいと考えています。

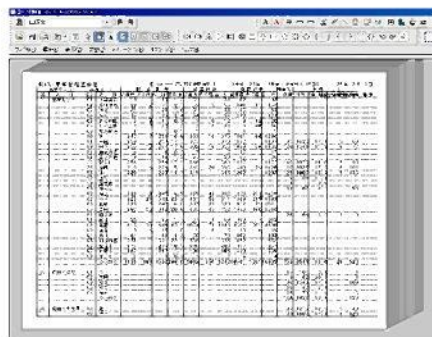
6. リデュース

電子文書の追加

以前より月次帳票など閲覧あるいは保管用の帳票を電子化して各パソコンに配信していますが、今期も5種類の帳票を追加しました。印刷すればA4版コピー用紙で年間700枚が必要です。

配信された帳票はパソコンの画面で見えています。

電子帳票



A5用紙の活用

どうしても印刷しない書類でも情報量が少ない場合、A5版のコピー用紙に印刷するようにしました。用紙はA4版のコピー用紙を自社で半分に裁断しています。プリンタは給紙カセットがないので、手差しトレイにA5版のコピー用紙をセットしています。セットできる枚数は少ないのですが印刷枚数が多いので間に合っています。



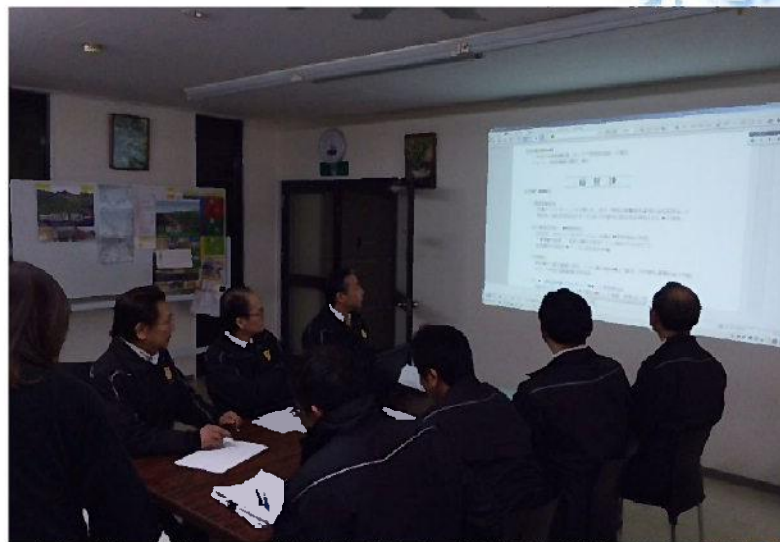
A4版コピー用紙

ペーパーレス会議の開始

平成27年3月より、毎月開催している部門長会議をプロジェクターに資料を投影して紙での配布をやめました。

また、資料は前日に電子文書にして会議メンバーに配信しています。

これで、年間約4,500枚のA4版コピー用紙が節約できます。



7. リユース

緩衝材のリユース

商品の入荷場に緩衝材BOXを置きました。
入荷した商品を開梱した時に緩衝材をこの
BOXに入れます。



緩衝材BOXがいっぱいになったら、出荷センターに
持っていき、出荷する商品の緩衝材として再利用し
ます。



パソコンの売却

前期にWindowsXPのパソコンをWindows7搭載パソコンへ入
れ替えました。余ったWindowsXPのパソコンを購入した中古
パソコンショップに1台あたり500円で15台売却しました。
中古パソコンショップではデータを消去した後に再生して再
販するそうです。

上島珈琲貿易株式会社様
買取日 2015/4/16 (担当 様) ; 買取番号 J2003642

台数	メーカー	機種名	型番	買取単価	買取金額
1	PC	NEC	PC-MY18AE2E3	7,800	7,800
2	PC	NEC	PC-MY18AE2E3	7,800	15,600
3	PC	NEC	PC-MY18AE2E3	7,800	23,400
4	PC	NEC	PC-MY18AE2E3	7,800	31,200
5	PC	NEC	PC-MY18AE2E3	7,800	39,000
6	PC	NEC	PC-MY18AE2E3	7,800	46,800
7	PC	NEC	PC-MY18AE2E3	7,800	54,600
8	PC	NEC	PC-MY18AE2E3	7,800	62,400
9	PC	NEC	PC-MY18AE2E3	7,800	70,200
10	PC	NEC	PC-MY18AE2E3	7,800	78,000
11	PC	NEC	PC-MY18AE2E3	7,800	85,800
12	PC	NEC	PC-MY18AE2E3	7,800	93,600
13	PC	NEC	PC-MY18AE2E3	7,800	101,400
14	PC	NEC	PC-MY18AE2E3	7,800	109,200
15	PC	NEC	PC-MY18AE2E3	7,800	117,000

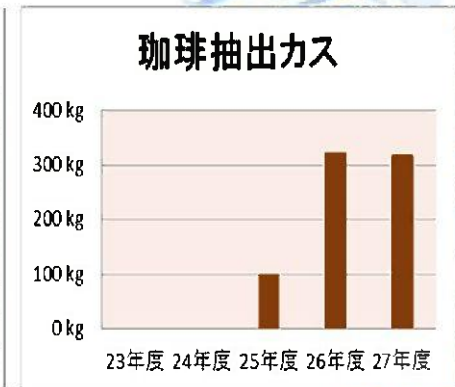
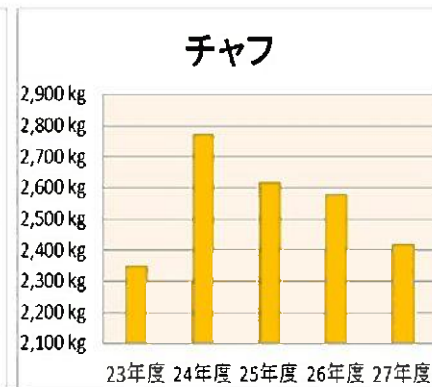
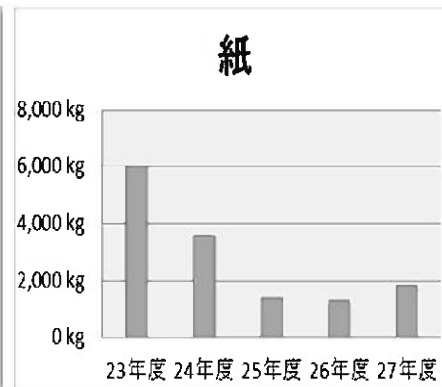


携帯電話の売却

パソコンと同様に中古パソコンショップに機種変更して使用し
なくなった携帯電話45台を52,700円で売却しました。
やはり、データを消去した後に再販するそうです。

8. リサイクル

リサイクルの量



新聞紙は前期までは梱包用に再利用していたのですが、お客様より食品の梱包に使用するのは問題があるご指摘を受け、今期よりリサイクルすることにしました。そのために紙のリサイクル量が増えました。

リサイクルの収支

リサイクル項目	平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度	
	収入	支出	収入	支出	収入	支出	収入	支出	収入	支出
ダンボール・紙売却	0円	0円	34,673円	0円	46,121円	0円	59,252円	0円	77,806円	0円
チャフ・抽出カスの肥料化	0円	31,418円	0円	51,490円	0円	51,622円	0円	48,798円	0円	54,030円
チャフの売却	0円	0円	0円	0円	6000円	0円	6000円	0円	6000円	0円
合計	0円	31,418円	34,673円	51,490円	52,121円	51,622円	65,252円	48,798円	83,806円	54,030円
収入 - 支出		-31,418円		-16,817円		499円		16,454円		29,776円

今期(平成27年度)は4月よりダンボール・紙の売却単価が1kgあたり2円上がったので収入が増えました。

9. 品質管理強化による環境負荷の低減

コーヒーの生豆が入っているドンゴロス(麻袋)にはコーヒーだけでなく、石・金属・糸くず・虫などさまざまな異物が混じっています。これらが製品に混入してお客様よりクレームをいただき商品の回収や廃棄等にコストがかかるとともに、環境負荷が生じます。異物混入を防いで安全な製品をお客様に提供するために下記の設備を導入しました。なお、導入にあたり中小企業庁の「平成25年度補正中小企業・小規模事業者ものづくり・商業・サービス革新事業」に採択され、費用総額の2/3の補助金をいただきました。本格稼働は来期からです。

X線検査機



金属検出機



石取機(小)



抜き取った石



来期は石取機{生豆用(大)と煎豆用(中)の2台}と生豆の風力選別機の導入します。

10. 地域との関わり

伐採した木の再利用

前期の太陽光パネルの光を遮る木を伐採しました。それを経理部長が毎年頑張って裁断して、車に積み込んで前期に引き続き銭湯に燃料として使用してもらっています。



経理部長

銭湯から借りてきた、軽トラに積み込み銭湯へ。
銭湯のおじさんには燃料の重油が高騰しているの
で大変助かると感謝されました。

堺市まち美化推進プログラム

毎週水曜日に15分間本社の前の歩道を280mに渡って清掃しています。また、通行する方に楽しんでもらおうと今期もチューリップを植えました。



エコ検定テキストを図書館に寄贈

エコ検定のテキストが改定されたので前期と同様に旧のテキストを堺市の図書館に寄贈しました。



11. 直営店の環境活動

八尾直営店

平成26年11月にオープンしました。

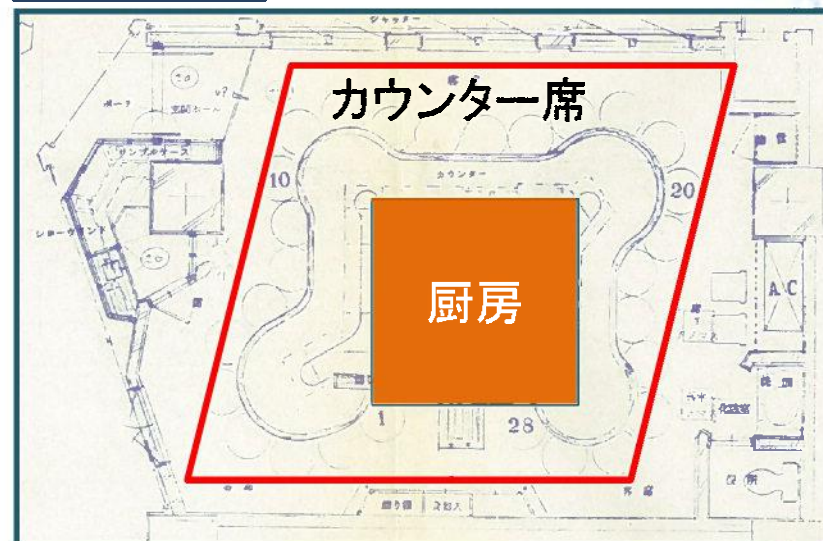
元は昭和55年(1980年)に開業した弊社のフランチャイズ店でしたが、オーナーが高齢になったので、その後を一部改装し「MUC COFFEE ROASTERS」の屋号で業態を変更して直営店として営業しています。店舗内はオールカウンター席で省スペースになっており空調面において省エネタイプになっています。



店舗内写真



店舗図面



水道に節水コマを取り付けましたが、照明は改装予算の都合で旧店舗の白熱球をそのまま使用。今後、少しずつLEDへ変更していきます。また、コーヒー抽出カスを一旦本社に回収して業者に渡してリサイクル(堆肥化)します。

12. 弊社環境活動のご紹介

弊社の環境活動の事例発表

平成26年11月 大阪府主催 「省エネセミナー」



平成27年 3月 なにわエコ会議主催 「電力削減セミナー」



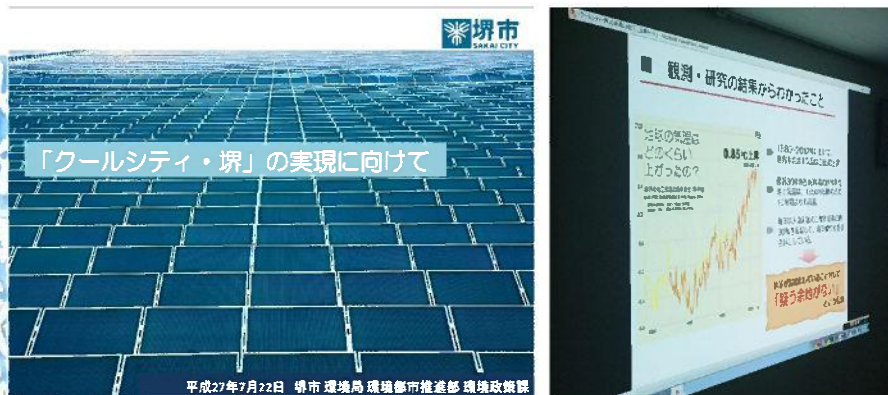
平成27年 7月 堺市、堺商工会議所、エコアクション21地域事務局大阪、
技術振興協会主催「環境経営セミナー」

規模の小さな会社でもすぐに取り組める事例が多く
参考になると言われる事が多いです。
思い立ったらすぐ行動など、実践する為の工夫や
社内環境づくりなど内容盛りだくさんです。

13. 環境教育

堺市生涯学習まちづくり出前講座

堺市環境局の方が本社にいられて、前期の「地球温暖化って何？」に引き続き、「クールシティ・堺の実現に向けて」というテーマでお話いただきました。平成26年7月22日



最後に「Think Globally、Act Locally」(地球規模で考え、足元から行動せよ)という標語で締めくくられました。世界のコーヒーの生産国に思いを馳せながら、地道に環境活動に取り組む弊社の姿勢にピッタリです。

エコ検定受験

今期は3名合格し、今までの合格者が23名になりました。少しづつですが、エコピープルが増えています。



エコピープル
マーク

弊社では合格者の名刺に合格証番号の入ったエコピープルマークを印刷しています。

朝礼でルール遵守のチェック

効果絶大

今月のテーマ 情報を共有する

今週のルール(事務所)
15分以上離席するときは
パソコンの電源を押してスリープ状態にする。

事務所に今週のルールを貼りだして、毎週月曜日の朝礼で社長がルールが守られているかチェックします。一人でも守られていなかったら次の週も同じルールをチェックします。エコアクション21の審査人のアイデアですが、大変効果がありました。



ご覧くださいまして、
ありがとうございました。
Think globally, Act locally
(地球規模で考え、足元から行動する)
を合言葉に頑張ります！

※今年度、クイーンさんは産休中のため不在です。

To be continued !